

「学校配置の見直しについて」説明会 質疑応答要旨（東桃谷小学校）

実施日時：平成 26 年 5 月 24 日（土）14：00～15：20

参加者数：24 人

出席者：（生野区役所）清野区長、竹沢副区長、北邑教育振興担当課長
（教育委員会事務局）川口学校適正配置担当課長
（学校）津曲東桃谷小学校長、椿本勝山中学校長

統廃合の必要性やめざす方向性に関する質問・意見

- 1 6 年生の保護者だが、1 学年 1 学級の状況は子ども達も保護者もとても仲が良いし、教師の目も行き届いている。
- 2 仲の良い状態が崩れた場合にクラス替えができなくても仕方ない。2 クラス以上あっても違うクラスにできない時はある。
- 3 東桃谷小は 1 学級 30 人以上いると思うが、近くの小学校では 1 学級 10 人程度のところもある。今は少人数学級で目も行き届くが、統合されて人数が増えるといきなり学習環境が変わる。3 年生以上の 1 学級あたりの児童数を弾力的に運用することはできるのか。
（区長）
1 学年 1 学級だと、担任の先生がその学年での課題を相談できる相手が限られてしまいます。また、音楽の合唱ができない、運動会で組み体操ができない等教育活動の幅に制限が生じてきます。
小規模校のメリットというものも十分承知していますし、現在通学していて良いと感じている保護者の方も多いたとは思いますが、転入してくる方や未就学児の保護者の方が 1 学年十数人しかいない学校を希望するかということも考えると、適正な学校規模の目安である 1 学年 2 学級以上を安定的に確保できる 1 学年 50 人、6 学年で 300 人程度をめざしたいと思っています。500 人規模までの学校を考えているわけではありません。
- 4 中学校においてはクラブ活動が成り立っていない。小学校においても人間関係が固定化するし、運動会も面白くない。学校の統廃合はあってしかるべきである。
- 5 小学 2 年生と来年度 1 年生になる子どもがいるが、大阪市の学校は、財政的な状況もあって、他府県に比べても雇用が 1 年更新等の講師の数が非常に多いと聞いた。教諭と講師ではモチベーションが違うということもあると思うので、統廃合によってそういう問題が解消されるのであれば進めてほしい。中学校でも部活動がないなどの状況は子どもにかわいそう。

- 6 歩いていける距離に学校がいくつもあって、しかも1クラスという状況に驚いている。統廃合でクラスが増えるのはいいことだと思うが、これはいつぐらいに進んでいくのか。

(副区長)

平成26年度から概ね4年間かけて再編を進めていくスケジュールになっていますが、あくまで最短の場合です。どこの学校とどこの学校を統合するのかをまず決めて、安全な環境で通学していただくためにどんな学校にするのか等を決めていく必要があります。可能であれば今年度中に統合する学校を決めたいと思っています。住民に影響が大きい話なので何がなんでも今年度中に決めようとは思っていませんが、いつまでもこの状態にしておけないので、どこかの段階で統合案を提示し目標を見据えた形で意見交換が進むようにしたいと思っています。

- 7 統合すると、どこかの学年で急に別の学校と一緒にになるので、1年生から順に実施することはできないのか。

(区長)

4年生から6年生は前の学校に引き続き通うというような対応も考えられますが、吸収合併ではなく皆さんで新しい学校を作っていくという考え方でなければいけないと思っています。そうすると、小学校6年間のどこで切るのも不可能で、どこかの学年が統合を目の当たりにせざるを得ません。それが子どもに及ぼす悪影響は事前に十分配慮しなければなりません。新しい学校とともに過ごす中でようやく新しい文化が生まれ育まれていくと言う点も大切だと考えています。

(川口課長)

今年3月に教育委員会が作成した大阪市立小学校 学校配置の適正化の推進のための指針でも、新しい学校をどう作っていくのかということを考えて、子どもの心の負担が軽くなるように周りの大人が頑張っていかなければならないとされていますので、今までの経験を活かして進めていきたいと考えています。

- 8 廃校になる側の地域から反発が出ると思うが、どの学校がなくなるのか見えないまま話が進むと、各地域は自分の学校が残ることを前提に考える。保護者等の考え方を新しい学校に切り替えるためにも、早い段階でどの学校とどの学校が統合されるのかを具体的に提案して話を進めてほしい。

(区長)

ある時点には、区役所の方から具体案を提案せざるを得ないとは思いますが、公有地の活用も選択肢として考えながら案を作れないかということも思っています。

ブロック意見交換会でのご意見等を踏まえながら、できる限り早い段階で案は出していきたいと思っています。

- 9 学校が統合された場合に、校区の見直し等を行わないのか。

(区長)

ブロックごとに考えている理由でもありますが、生野区では地域活動の単位と校区がほとんど一致しているので校区変更は難しいと考えています。

ブロックの中で校区変更という話が出てくれば対応はしたいですし、別のブロックに変更したい

という場合も対応したいと考えています。幅広い対応ができるように今のようになっています。

統廃合後のあり方に関する質問・意見

- 10 統合して廃校になると、地震があった場合等に廃校になった地域の住民も避難してくるようになるが、今でも住民は多いので、避難する場所がなくなるのではないかと。

(副区長)

具体的な内容については、ブロックごとの意見交換会で議論していきます。廃校になった学校を残して避難所として活用するには施設をどういう形で維持していくかが課題です。

避難場所のこと等がまったく決まらないのに学校だけ統合を進めるという考えは持っていませんが、まずは教育環境をどうしていくかということを第一に考えていきます。

(区長)

廃校になったとしてもすぐに建物を取り壊したりすることはありません。

- 11 学校統廃合は、子ども達の環境だけでなく地域団体の活動やPTA活動にも影響が出るように思う。過去の統廃合では問題がなかったのか教えてほしい。

(川口課長)

PTAは学校単位で組織されるものなので1つになりますが、事前にそれぞれの行事の時期や活動内容をすり合わせていただくことになります。また、校区が広がるので、通学路の安全対策や両地域の連携について、統合に向けた話し合いの中で議論していただく必要があります。その他の団体についてはそれぞれの地域によってやり方は違いますが、学校の統合にあわせて地域活動の単位も一つになったという例は極めて少ないです。地域活動は地域活動として別々のまま活動される例が多いですが、各種行事の際に協働することで交流が盛んになっている印象を受けています。これまで地域活動の面で特に大きな問題があったということは聞いていません。

- 12 統合すると校区が広がって帰るまでの時間がかかる。子どもの安全へのフォローなどはやってほしい。

その他の質問・意見

- 13 来年度か再来年度から小学校を選択できるという話を聞いているが、統合によって行きたくない小学校に行かなければならなくなる可能性があるのではないかと。

(副区長)

すでに学校選択制を実施している区もありますが、生野区では区西側エリアに小規模な学校が多いので、学校配置の見直しを優先するため、区東側の中学校のみ選択できる制度としました。

小学校については、近くにある小学校が校区外のために遠い学校に通わなければならない所もあるので、学校の正門から自宅まで概ね400m以上あって、近くに別の学校がある場合、指定校を変更できる制度を来年度から導入します。

14 小学校を指定校変更した場合、進学する中学校はどうなるのか。

(区長)

学校選択制が導入されていないのであれば、住所地により指定される中学校になります。